

SEKONIC

露出計 Light Meter

使用説明書

Operating Instructions

ツインメイト L-208

TWINMATE L-208

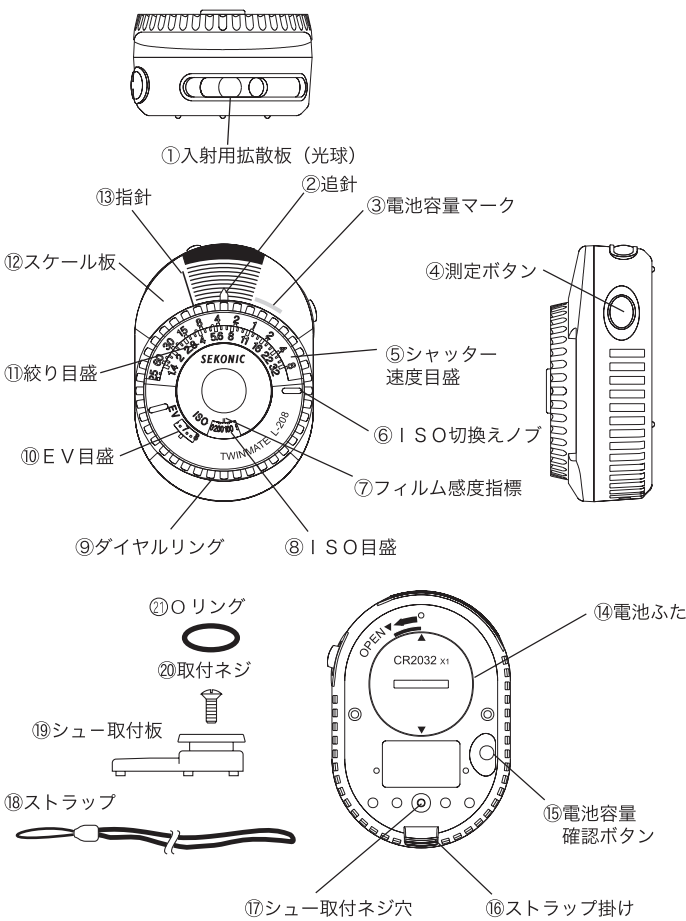
保証書付

お買い上げありがとうございます。

この使用説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

この使用説明書には、保証書が添付されておりますのでお読みになった後も、大切に保存してください。

■各部の名称



1. ストラップのつけ方

ストラップ⑱をストラップ掛け⑯の穴から通し先端の輪のなかにストラップの反対側を通してください。

2. 電池の入れ方

- 電池はコイン型リチウム電池CR2032型3V1個を用意します。
- 電池ふた⑭を硬貨等で左に回して外し、電池の+側を上に向けて爪の下に電池を滑り込ませるように挿入してください。
- 電池ふたを本体の▼マークに合わせて"カチツ"と音がするまで、右に回して閉めます。

*電池は長時間使用しない場合は必ず取り出しておいてください。
*長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておいてください。

3. 電池容量確認

- 電池が規定の電圧以下になると露出計の指針⑬は正しい値を示しませんので、使用する前に本体裏側にある電池容量確認ボタン⑮を押して指針が電池容量マーク③の位置にあることを確認してください。
- 電池容量マークに達していない場合は新しい電池と交換してください。

4. フィルムISO感度の設定

ISO切換えノブ⑥を回して使用するフィルム感度をフィルム感度指標⑦に合せます。

5. 入射・反射光式の切り換え

切り換えは入射用拡散板(光球)①のつまみ部を持ってクリック位置まで動かしてください。図-3の状態が入射光式、図-4の状態が反射光式です。

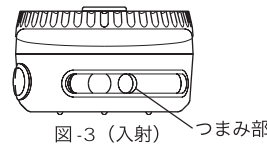


図-3 (入射) つまみ部

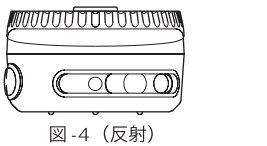


図-4 (反射)

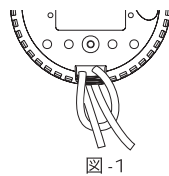


図-1

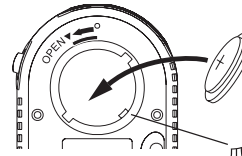


図-2

■アフターサービスについて

* 弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引き受ける保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 無料保証期間などについて

- 無料保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
- 無料保証期間でも有料修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

● 補修用品の保有期間などについて

- 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
- 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
- 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいじりしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われましますものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

● 修理ご依頼にあたって

- 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。
- 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+)(-)の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

● お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただきます、それ以外の責は負いかねます。

■保証規定

- 使用説明書にそった正常な使用状態で、万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または弊社営業部門にご持参ください。無料にて修理・調整させていただきます。
- 次のような場合には保証期間内でも保証の対象とはなりません。
 - 誤ったご使用またはお取り扱い上の不注意により生じた故障、または損傷など
 - 保管上の不備によるもの、および使用者の責に帰すと認められる故障、または損傷など
 - 弊社の指定する修理取扱所以外で行われた修理・改造・分解掃除などによる故障または損傷
 - 火災、地震、水害、公害、指定外の使用電池(電圧)およびその他の天災地変や落下、衝撃などによる故障または損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ日、保証期間、販売店名などの記載の不備な場合あるいは字句を書換えられた場合
 - ご使用後の内・外表面のキズ、部品や付属品の紛失による修復交換
 - 各部点検、精密検査、分解掃除等を特別にご依頼された場合
 - 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など)
 - お買い上げ店または、弊社営業部門にご持参いただくに際しての諸費用またはお買い上げ店と弊社間の運賃諸掛り
- ご注意
 - 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するものではありません。
 - 本保証書の表示について、ご不明点は弊社営業部門にお問い合わせください。
 - 保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日などが記入されているかどうかをご確認ください。万一記入もれがありました場合には、ただちに買い上げ店へお申し出ください。
 - 保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

6. 受光角

1眼レフカメラ標準50mmレンズ(画角46°)の約70%を測定範囲(中央部重点)と考えて、受光角 33°(約73mmレンズ相当)にしました。スケール板⑫に表示されているガイドラインを目安に測定してください。

7. 測定

- 入射光式・反射光式いずれの場合も、測定ボタン④を押すと指針が振れ、測定ボタンを離すと指針が約15秒間保持されていますのでその間にダイヤルリング⑨を回して追針②を指針に合わせます。
*指針保持機能を採用しているため、測定を行う際は測定ボタンを1秒以上押してください。
*指針が保持されている間でも測定ボタンを押すと新たな測定値が表示されます。
- シャッター速度目盛⑤と絞り目盛⑪が合致している組み合わせを読み取り、撮影目的に最も適した1組を選んでカメラにセットしてください。
- 目盛の読み方

1/8000、1/4000、1/2000...1/2秒の意味です 秒単位

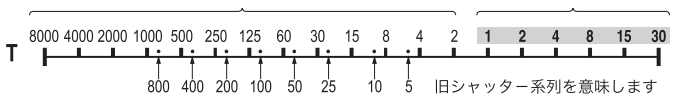
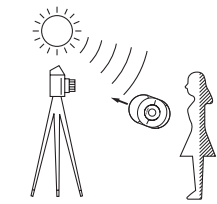


図-5

8. 入射光式測定

この測定方式は露出計を被写体の直前に置き、受光部をカメラ方向に向けて測定します。(図-6) 被写体に当たっている光の強弱を純粋に測定していますので被写体の反射率に影響されることがなく、本来の測定方法といえます。(標準的な露出値が求められます。)



入射光式測定 図-6

■仕様

形 式	定常光用アナログ式露出計
受 光 方 式	入射光式及び反射光式
受 光 部	入射光式 反射光式 受光角 33°
受 光 素 子	シリコンフォトダイオード
測 定 範 囲 (ISO100)	入射EV 3～17 (F2.0, 1/2～F22, 1/250) 反射EV 3～17 (F2.0, 1/2～F22, 1/250)
表 示	フィルム感度 12～12500 (1/2ステップ) 絞り 1.4～32 (1/2ステップ) シャッター速度 30秒～1/8000 (1ステップ) 他 1/5, 1/10, 1/25, 1/50, 1/100, 1/200, 1/400, 1/800 EV値 3～17 (1/2ステップ)
校 正 定 数	入射光式C = 340 反射光式K = 12.5
使 用 電 池	コイン型リチウム電池CR2032型3V1ケ
使用温度範囲	0°C～40°C
保管温度範囲	-20°C～60°C
寸 法	約45(幅)×65(高さ)×24(厚さ)mm
質 量	約40g(電池別)
標 準 付 属 品	ストラップ、ソフトケース、 シュー取付板(Oリング、ネジ3本内予備2本)

*この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

■正しく安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

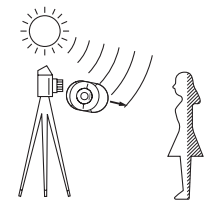


このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。

- 窒息の危険がありますので乳児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない所に置いてください。
- 電池は飲み込むと危険ですので、本体及び電池単品は幼児等の手の届かない場所に置いてください。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 電池が破裂し火災、ケガや周囲を汚染する危険がありますので、電池を火中に入れたり、ショート、分解、加熱は絶対しないでください。

9. 反射光式測定

この測定方式は受光部カメラ位置から被写体に向けて測定します。被写体に当たって反射した光の強弱を測定して決める方法です。(図-7) 従ってこの方法では、光源の明るさと被写体の反射率の違いの両方の影響を受けることになりますので、極端に反射率が高い又は、低い場合は補正が必要となります。



反射光式測定

図-7

10. シュー取り付け

シュー取付板⑲と取付ネジ⑳をご使用頂くとカメラのアクセサリーシューに取り付けることができます。シュー取付板は取り付け位置が変更できますので、ご使用のカメラに合わせて取り付けてください。尚、シュー取付板の向きは逆方向にすることもできます。

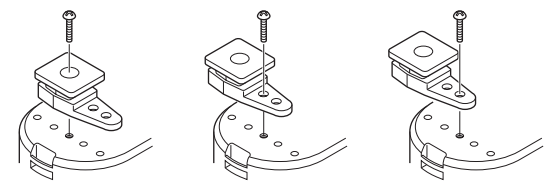


図-8

又、取り付けた時ゆるい場合は、同梱のOリング㉑をシュー取付板の溝にはめてご使用ください。

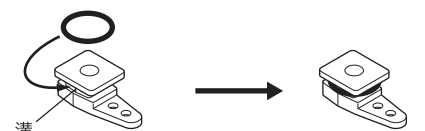


図-9